

## 第141回くらしの植物苑観察会 2010年12月4日(土)

## サザンカの花色と花形の変化を楽しむ

箱田 直紀(恵泉女学園大学名誉教授)

冬枯れの庭や生垣などに彩りを添えるサザンカは、九州や四国など西南日本原産の野生サザンカから生まれた花木です。江戸時代初期から様々な園芸品種が受け継がれてきましたが、今回はそれらサザンカの花色や花形の変化、開花時期に焦点を当てて観察してみましよう。

### 1. サザンカの花色

庭に植えられたサザンカには白、桃色、紅色から縁紅ぼかしなど多彩な花の品種がありますが、そのもとになった野生のサザンカは白花です。花卉の先端がわずかに桃色や紅色を帯びる個体は野生種中にもかなりあるのですが、園芸種にあるような桃花や紅花は見つかりません。

それでは、白花をもとになぜ様々な色の花が生まれたのかというと、おそらく江戸時代初期あるいはそれ以前に、西南日本のどこかで野生のサザンカと紅花のツバキとが自然交雑し、それをもとに、さらにサザンカやツバキと交雑が繰り返された結果、今日のような濃淡様々な品種が生まれたのだらうと考えられています。ただし、花卉の先端や裏側が紅色に発色する性質はサザンカが本来持っていた性質と考えられています。

### 2. サザンカの花形

サザンカの八重咲きは、花の内側の雄しべが花弁状に変化することによって生まれます。しかし、最近よく見かけるような八重咲きや千重咲き、獅子咲きのように、花弁数が極度に増加したものは勿論自然界では見つかりません。サザンカの八重咲きや華やかな獅子咲きが現れたのは明治時代以降で、その数が急激に増えたのは今から50年ほど前からです。その多くが獅子頭(関東では寒椿とよぶ)という八重咲きの品種を起源とする系統と考えられています。

### 3. 開花時期

サザンカの花は秋以降の気温低下に反応して開花します。野生のサザンカの開花期は10月中旬頃から12月で、園芸種でも一重咲きの多くはこの時期に開花し、年内にはほとんど咲き終わります。しかし、八重咲きのカンツバキ系の品種やサザンカとツバキとの雑種やその後代と考えられているハルサザンカは12月から2~3月へかけて寒中に咲き続けます。サザンカの中でも早咲きのものと冬咲きの品種を組み合わせると、晩秋から春先まで継続して花を楽しむことができます。



野生サザンカ（平戸市産）の花



緋乙女（カンツバキ系）の花

.....

**次回予告** 第142回暮らしの植物苑観察会 2010年1月22日（土）  
「体験講座 桜草を植え替えよう」  
山村 聡（当館管理部博物館事業課 暮らしの植物苑担当）  
13:30~15:30（予定） 苑内休憩所集合 申込不要